



患者と医療者の協同によるフルネーム確認

岩手医科大学附属病院 医療安全管理部 医療安全推進室

○菅原 敦子 澤瀬 あや子 高橋 智 佐藤 譲 小林 誠一郎



背景・目的

患者誤認を確実に防ぐには、患者に名前をフルネームで名乗っていただくことが有用であるとわかっていても、煩わしい、患者が嫌がるなどの理由から確認が確実に行われず、患者誤認が発生している現状であった。

患者誤認は重大なアクシデントにつながる危険性が高いため、平成21年1月より取り組みを開始している。

病院概要

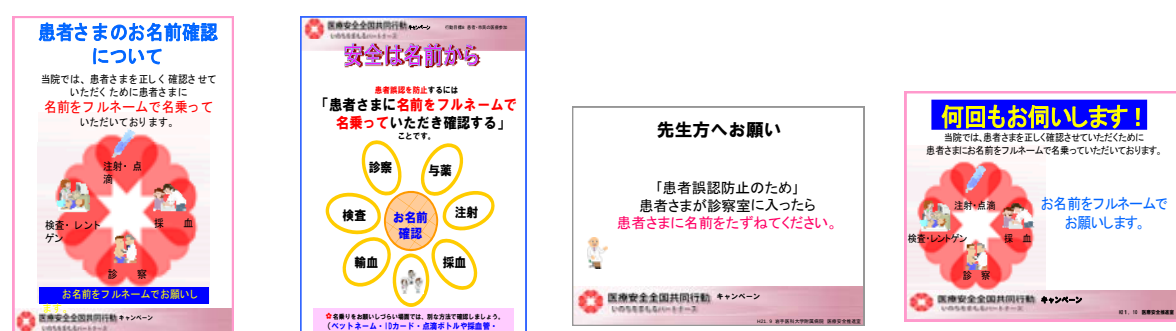


●病床数：1,166床 ●1日平均外来患者数：2,100人
●1日平均入院患者数：892人 ●職員数：2,145人

院内ルールとしての取り組み

『患者に名前をフルネームで名乗っていただく』

患者・家族・職員へポスターやリーフレットで周知



【患者用ポスター】 【職員用ポスター】 【医師用ポスター】 【患者用リーフレット】

患者と職員に実施率と認知度についてアンケート調査

- 1回目：平成21年5月（取り組み開始の4ヶ月後）
- 2回目：平成22年3月（取り組み開始の14ヶ月後）
- 3回目：平成23年3月（取り組み開始の26ヶ月後）予定

患者・家族・職員へ取り組み結果を掲示板や委員会で報告

アンケート結果を外来掲示板へ

名乗っていただくのが難しい場合は、ベッドネーム、IDカード、点滴ボトル、薬袋などを患者と一緒に確認



医療安全推進委員会の部会メンバーが現場巡視確認

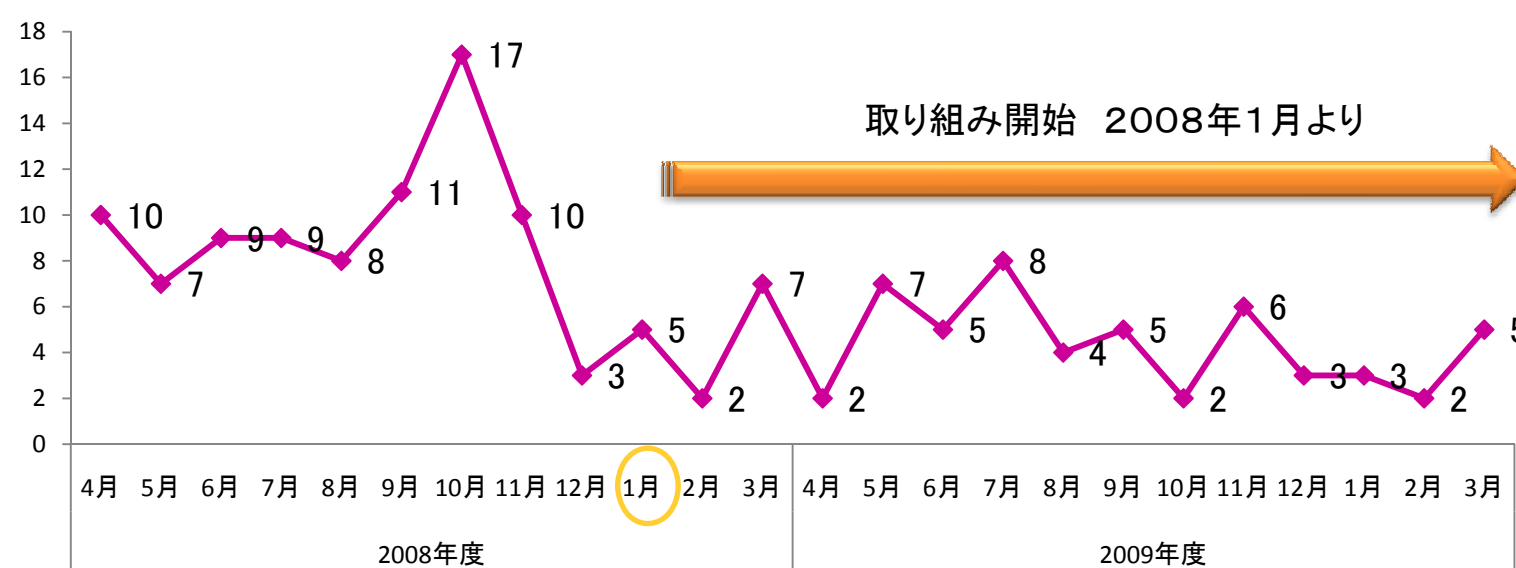


直接職員に実施確認のインタビュー

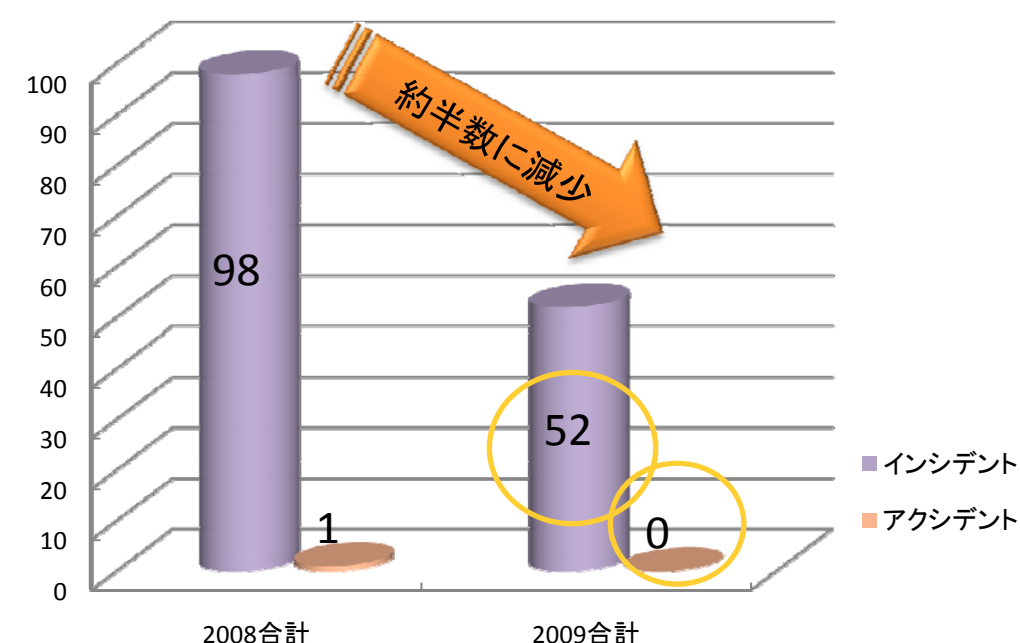
市民フォーラムや、テレビ報道などで院外の医療者や患者・市民に紹介

取り組み結果

患者誤認に関するインシデント・アクシデント件数の変化

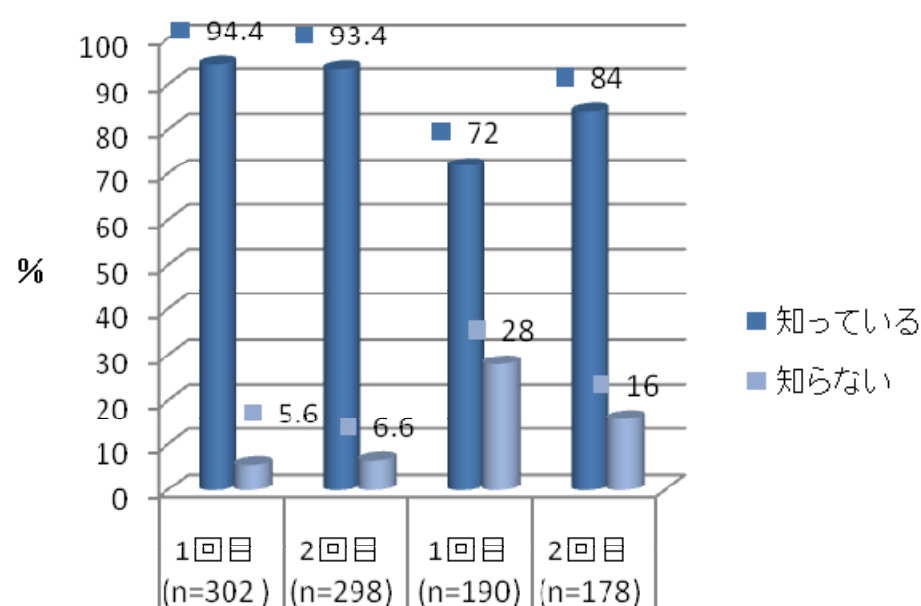


取り組み開始により、インシデント・アクシデントが減少した。

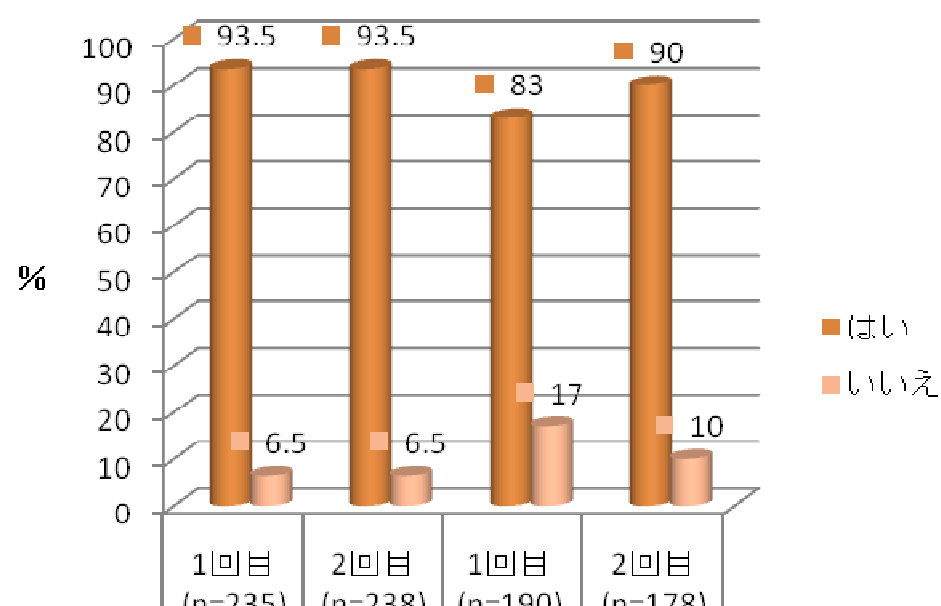


アンケート結果

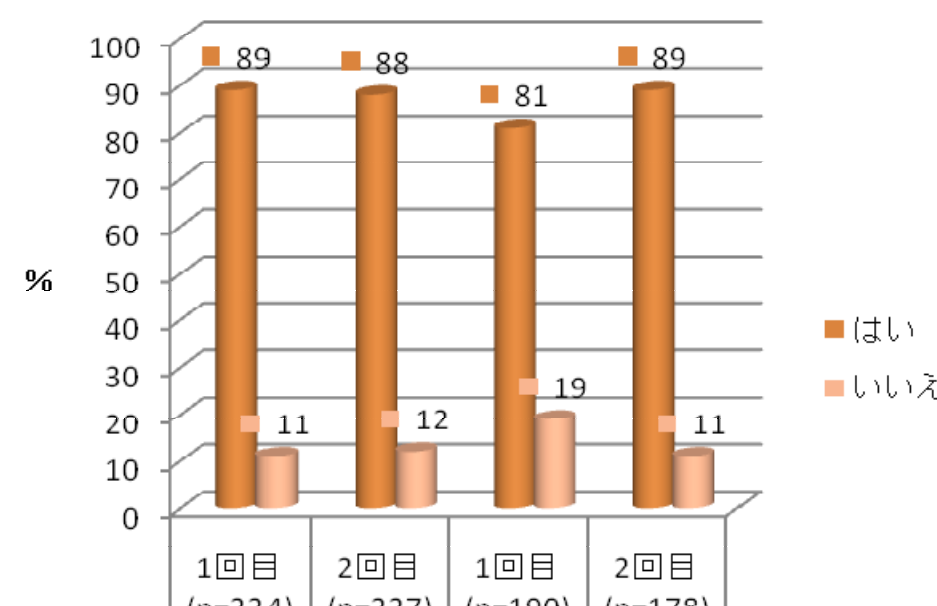
Q: 患者様を正しく確認させていただくためにご本人・家族の方に名前を名乗っていただいておりますが、ポスター等でご存じでしたか？(職員・患者)



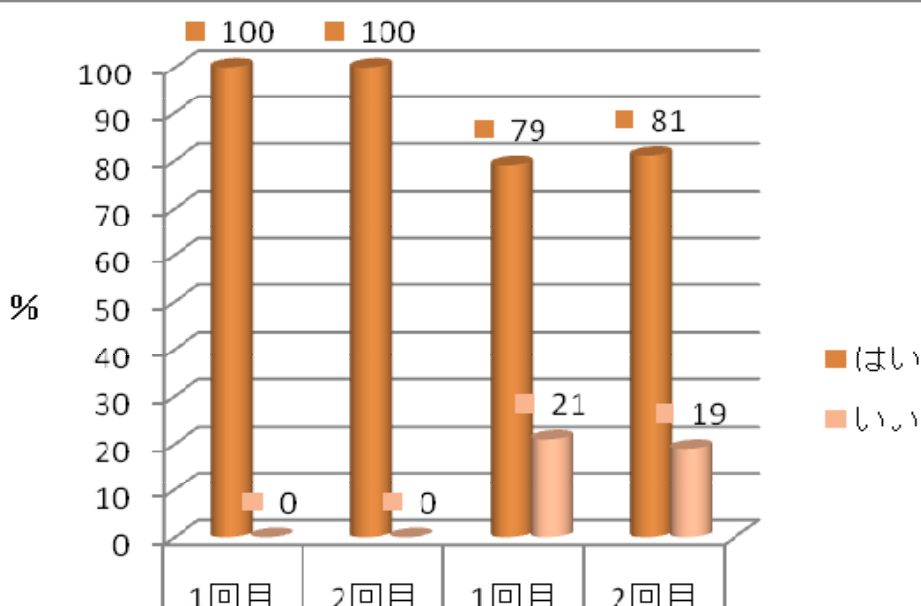
Q: 採血実施時に名前を名乗っていただきましたか？(職員)
Q: 採血実施時に名前を名乗るように言われましたか？(患者)



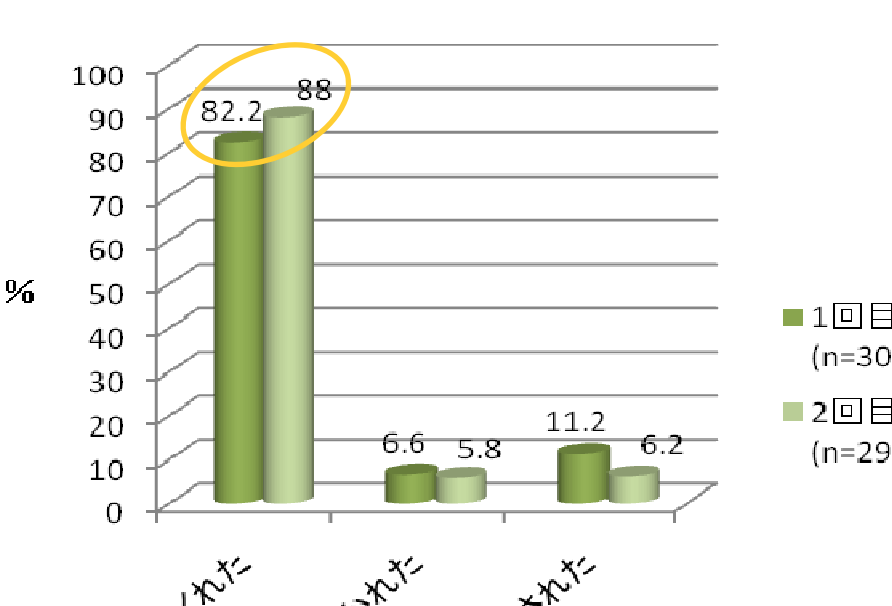
Q: 点滴実施時に名前を名乗っていただきましたか？(職員)
Q: 点滴実施時に名前を名乗るように言われましたか？(患者)



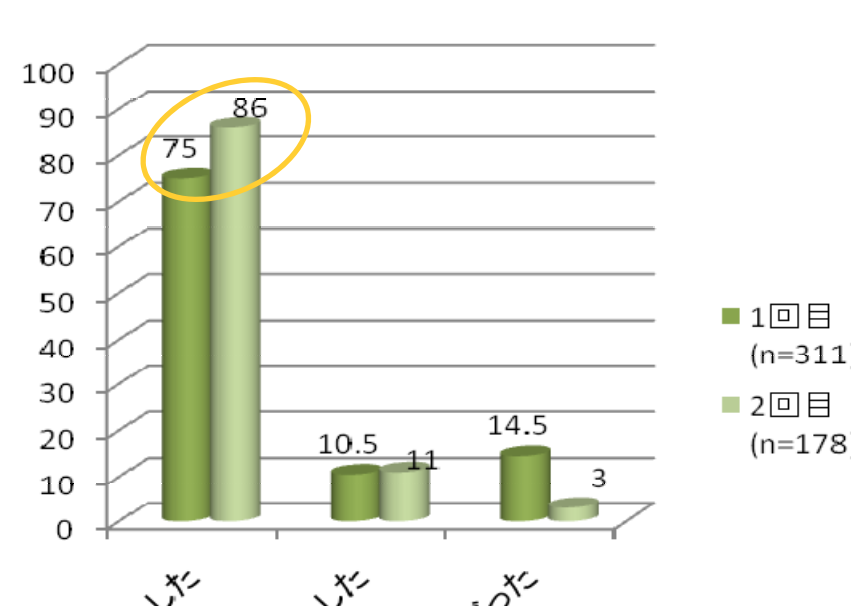
Q: 放射線撮影時に名前を名乗っていただきましたか？(職員)
Q: 放射線撮影時に名前を名乗るように言われましたか？(患者)



Q: 毎回確認することで患者の反応はどうか？(職員)



Q: 毎回確認されることで？(患者)



1回目のアンケートでは、患者・職員とも患者誤認に対するリスクの認知度が低く、フルネーム確認の必要性が理解されていなかった。ポスターを見やすく目立つ内容に変更し、確認方法を再度周知することで認知度と実行率が向上した。

今後の課題

患者・医療者双方が、名前を名乗ることは当たり前のこととして認識し行動することが、患者誤認「0」につながるため今後も継続し取り組んでいく。